

もくじ

- 所感 沖野 外輝夫
- 令和6年度の諏訪湖クラブの取り組み
- 令和6年度元気づくり支援金事業
冊子「日本の近代化を支えた
蚕糸業とカイコについて学ぼう」 伴野 豊
冊子「諏訪の大地誕生」 北澤 和男
- 信州大学諏訪臨湖実験所の活動 宮原 祐一
- 姉妹都市アメリカセントルイス市を訪れて 高木 保夫
- 「湖沼水環境保全に関する自治体連携」をサポートする
全方位活動 井上 祥一郎
- 水の特集「水の話」フジグリーン工業(株)
- シンポジウム「諏訪湖と市民活動」開催
- 諏訪湖の詩から一滴の眩き&スケッチ、思い～ 藤田 ます
- 野鳥のためのエサ台を作って野鳥を呼ぼう 八幡 義雄
- 湖南小学校から見た朝日の昇る位置と時間 八幡 義雄
- 理事会報告



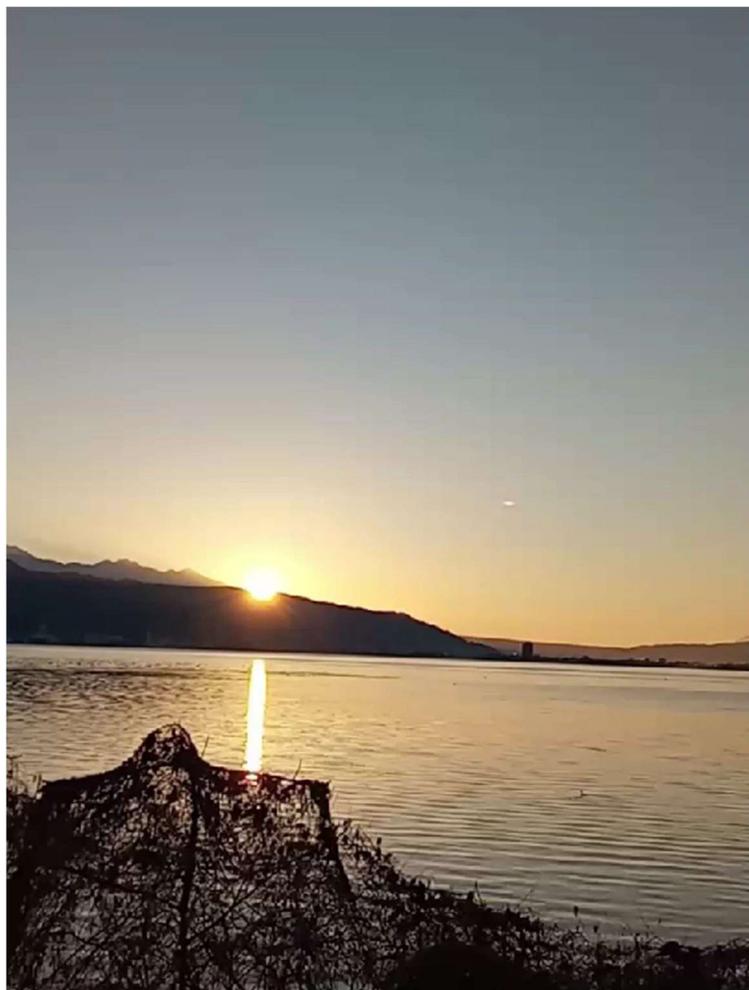
謹賀新年

令和7年元旦の日の出です。

下諏訪の湖畔から南東、八ヶ岳の麓から昇りました。日の出の右側に富士山が見えるはずですが、スマホでの撮影では遠すぎるようです。

この一年、何事も起こらず、平穏な暮らしができることを祈願しました。

令和7年元旦 沖野 外輝夫



令和6年度 諏訪湖クラブの事業概要

- ◆**令和6年1月11日(木) 諏訪農村農業支援センター**
漁業振興ワーキング第1回会議 (沖野、宮原、井上、高木、八幡、山村)
 - ・ 諏訪湖における漁業の現状と課題の整理
 - ・ 魚介類の生息・再生産機能を有する修復手法及び手順の検討
 - ・ 漁獲量回復に向け導入可能な技術の検討

- ◆**令和6年1月22日(月) 諏訪地域振興局企画振興課**
諏訪湖の水草対策ワーキング第1回会議 (沖野、宮原、井上、高木、山村、八幡)
講演：東京大学大学院吉田丈人教授
演題：ヒシの除去手法

- ◆**令和6年2月6日(火) 9時00分～ 岡谷市教育長室**
冊子の贈呈式
 - 参加 岡谷市宮坂亨教育長
 - 諏訪湖クラブ 沖野会長、八幡、高木理事
 - 冊子(1)「諏訪湖の水生植物(変遷の軌跡)」 冊子(2)「諏訪湖の治水に繋がる釜口水門」

- ◆**令和6年2月15日(木) 諏訪湖湖上 諏訪農村農業支援センター**
諏訪湖魚介類生息環境修復事業現地学習会
 - 諏訪湖上で実施している浮き礁
 - (旧六砥川河口付近) 2m×2m、9基設置

- ◆**令和6年2月26日(月) 午後1時～下諏訪町立博物館**
諏訪湖の魅力を伝えよう (沖野、長崎(政)高木、八幡)
演題「諏訪湖の水生植物の変遷と将来の課題」
講師 沖野外輝夫氏(信州大学名誉教授、諏訪湖クラブ会長)

- ◆**令和6年3月5日(火) 午前10時20分～ 諏訪市立四賀小学校**
冊子;水の学習「水はどこから来てどこに行くのか！」贈呈式

- ◆**令和6年3月6日(水) 下諏訪総合文化センター**
第11回諏訪湖創生ビジョン推進会議
 - 令和5年度の活動実績
 - 参加 77名 (沖野、宮原、井上、高木、山村、八幡)
 - 諏訪湖の情報の共有化、諏訪湖のオープン化の動きの紹介

- ◆**令和6年3月14日(木) 諏訪湖湖上 諏訪地域振興局企画振興課**
諏訪湖のしゅんせつ学習会
 - 参加 53名 (井上、高木、宮坂、山村、八幡)
 - 遊覧船に乗船し、しゅんせつについての学習会

- ◆**令和6年(2024)4月14日(月) 8時30分～ 諏訪湖下諏訪町高浜沖**
アクアラングにより武田信玄石棺の調査実施
主催：宮帯出版社 宮下社長の母は諏訪出身 サポート 沖野外輝夫、八幡義雄



講演会の様子



推進会議の様子



しゅんせつ工事の様子

◆令和6年(2024)5月10日(金) 諏訪地域振興局企画振興課

令和6年度元気づくり支援金承認受け、本申請提出

全体 741,630円 元気づくり支援金 585,000円 補助率 4/5

冊子「諏訪湖の魚介類」沖野外輝夫 A4カラー40ページ、6,000冊 →36ページ

冊子「諏訪の大地誕生」チーフ；北澤和男 A4カラー16ページ、3,000冊 →24ページ

冊子「諏訪湖の鳥類」チーフ；林正敏 A4カラー32ページ、6,000冊 →28ページ

冊子「カイクの不思議」チーフ；伴野豊 A4カラー24ページ3,500冊 →28ページ

◆令和6年(2024)5月21日(火) 諏訪合同庁舎

水草対策WG

◆令和6年(2024)6月2日(日)

午前 全国一斉水質調査 天竜川他 参加；沖野外輝夫、高木保夫、田代幸雄

午後2時30分～ 諏訪市駅前交流テラスすわチャオ会議室3

諏訪湖クラブ定期総会開催

- ・出席者20名、委任状15名 正会員77名
- ・第1号～第2号 令和5年度関係 …承認
- ・第3号～第4号 令和6年度関係 …承認

記念講演 伴野豊氏 九州大学名誉教授 駒ヶ根シルクミュージアム館長 諏訪湖クラブ加入
演題「カイクと日本と私たち」

◆令和6年(2024)6月8日(土)～7月7日(日) 原村八ヶ岳美術館

世紀を超えた鳥類標本展示会

7月4日(木) 林正敏氏講演「世紀を超えた鳥類の標本を語る」

参加；沖野外輝夫、高木保夫、八幡義雄他

◆令和6年(2024)6月9日(日) 印刷終了・配布開始

冊子「諏訪湖チャリティー・ウォーク記念誌」作成

A4サイズカラー、92ページ、印刷60冊 費用33,040円

負担；ポイント5,000円、諏訪湖クラブ10,000円 JALT；18,040円

◆令和6年(2024)6月21日(金) 諏訪合同庁舎

諏訪湖しゅんせつWG

◆令和6年(2024)6月23日(日) 諏訪地域周辺

第2回諏訪湖トライアスロン ボランティア参加

宮坂平馬、八幡義雄、高木保夫(夫婦)、田辺鈴代

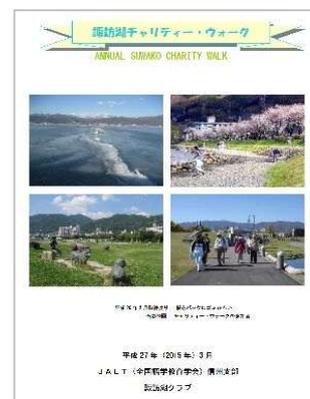
◆令和6年(2024)6月23日(日) 諏訪湖石彫公園

セントルイス市姉妹都市提携50周年記念式典

出席 セントルイス・ピーターラブ会長他関係者、諏訪市長、国際交流協会会長 高木保夫

◆令和6年(2024)7月3日(水) 諏訪合同庁舎

諏訪湖案内人 WG



諏訪湖チャリティー・ウォーク記念誌

◆令和6年(2024)7月12日(土)、13日(日)、19日(土)、20日(日)の4日間、諏訪湖現地
諏訪湖ヒシの刈り取り

◆令和6年(2024)8月13日(火)釜口水門

東京社会科授業研究会「夏の諏訪巡検」

参加；東京社会科研究会石上和宏会長他8名

八幡義雄、高木保夫

冊子「諏訪湖の治水に繋がる釜口水門」の内容を主に説明

諏訪のことについて違った目線でとらえていて参考になった。

◆令和6年(2024)9月3日(火)午後3時～ 諏訪湖環境研究センター

高村典子センター長と意見交換

参加 田辺皇子所長、沖野外輝夫、井上祥一郎、高木保夫、八幡義雄

諏訪湖の生物の多様化他について意見交換

◆令和6年(2024)9月29日(日)諏訪湖環境研究センター

諏訪湖の日フォーラム

諏訪湖環境研究センターの紹介 高村典子センター長

講演；静岡大学准教授、生物学者 加藤英明

演題；「諏訪湖の未来を考えよう」

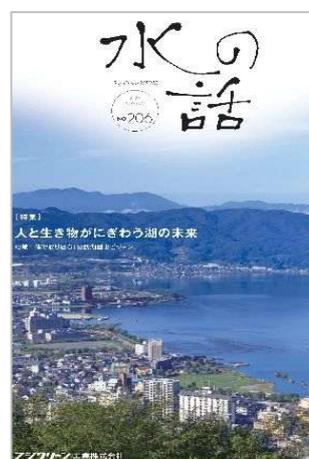
・諏訪二葉高校吹奏楽部/岡谷工業高校環境化学科生徒/おバカツインズ

◆令和6年(2024)10月4日(金)諏訪合庁

フジクリーン工業(株)広報誌「水の話」諏訪湖特集に関する取材

取材内容；広報誌「水に話」に諏訪湖の取り組みを掲載したい

6～8ページくらい 水にまつわる話、諏訪湖の自然他



水の話「諏訪湖」

◆令和6年(2024)10月25日(金)10時～原村役場

冊子「世紀を超えた鳥類標本」贈呈式

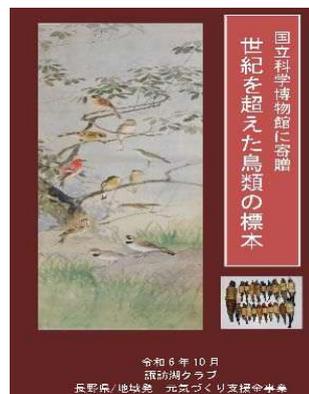
参加；牛山村長、八ヶ岳美術館館長小泉悦夫

沖野外輝夫、林正敏、八幡義雄

内容；A4サイズカラー、20ページ、印刷1,500冊 費用50,830円

元気づくり支援金補助4/5

配布先；諏訪郡市図書館、小中学校他



冊子「世紀を超えた鳥類標本」

◆令和6年(2024)11月27日(水)～29日(金)岡谷市林正敏氏宅

国立科学博物館による鳥類の標本約3,000点を運び出し

訪れたのは科博動物研究部(つくば市)西海功研究主幹他

◆令和6年(2024)12月7日(日)午前10時～11時 諏訪湖漁業組合事務所

茨城県霞ヶ浦市民協会と意見交換会

参加；霞ヶ浦市民協会関係者7名

沖野外輝夫、井上祥一郎、高木保夫、八幡義雄、宮坂平馬

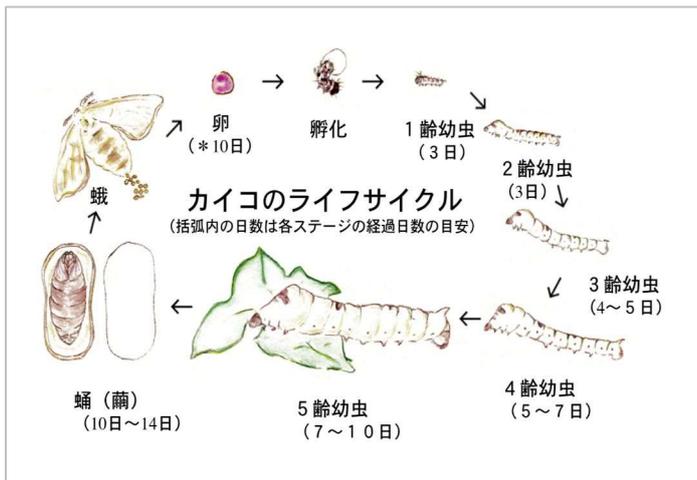
諏訪湖の浄化の取り組みなどについて意見交換会



意見交換会の様子

■ 「日本の近代化を支えた 蚕糸業とカイコについて学ぼう」 伴野 豊

私たちが毎日生活する諏訪地域は松本地域を含めて内陸の産業地域として知られています。古くから中山道と甲州街道の分岐点として発展した下諏訪地域は宿場町として栄え、人々の集まりやすさが労働力の集積地として産業の発展地として評価されたのでしょうか。その一つが岡谷市を中心とする蚕糸産業の発展です。蚕糸産業を支えたのは身近に蚕糸産業の原料供給を支える養蚕農家が広く存在し、地域の労働力を支える農業生産をも担ったことと、周辺の山林から供給される薪炭などの動力源、そして身近に存在する諏訪湖の水力資源（水車）、さらには、多くの人活をささえる飲料水の供給、労働者の保養に供されたであろう温泉の存在も見逃せない諏訪地域の地の利である。本冊子ではそのうちの核心でもある絹糸の原料となる繭を生産する「かいこ」について、その生態から絹糸に至るまでの道筋を辿ってみることにしました。



カイコの一生

一般の農家では 10 畳間で 3 万頭の飼育をしていました。昔は家に女の子が生まれると、出荷する繭の一部を家庭に残し、反物を自家用の織り機で織っていました。そのような生活は昭和 10 年代までは諏訪地方でも行われていました。

ところで、生糸を作り出すもとなるのはカイコの飼育、養蚕業であり、諏訪地域でも盛んでした。しかし、今では見るチャンスも少なくなってしまうています。産業として重要であった「かいこ」は、人類が古くから利用してきた昆虫という生き物を理解する上でも貴重な存在です。そこで、本冊子では、「かいこ」に関する基礎知識、「かいこ」の飼育方法、家庭や学校で育てた繭の活用法について紹介することにしました。この冊子を参考に「かいこ」を飼育し、繭からの糸繰り体験、あるいはその糸を使って物作りの経験をし、原材料から物を作り出す重要性を知ってもらえたらとも願っています。

日本の近代化を支えた
蚕糸業とカイコについて学ぼう



糸の養蚕から繭の繭糸、カイコの繭
繭糸、繭糸の製造、繭糸の製造

令和7年1月
諏訪湖クラブ
長野県地域発元気づくり支援金事業

冊子の表紙
桑の葉を与えて育てたカイコは糸を吐き出し繭を作ります。その繭から絹糸を取り出し絹織物ができます。

繭一粒の重さは約 2 グラム、その繭から長さが 1,300~1,500m ほどの糸が、その糸を 3~5 本よりあわさって 1 本の生糸ができます。では何頭飼育すると着物 1 着ができるでしょうか？ 着物 1 着を作る織物の量を 1 反と言います。1 反は幅 37cm で長さが 13m 程です。1 反には約 3,000 個の繭が必要になります。

印刷
A4 サイズカラー
32 ページ
3,500 冊



繭で作った犬の人形

諏訪のことをもっと知ろう「諏訪の大地誕生」

北澤 和男

130 万年の時を経てつくられた諏訪盆地

長野県のほぼ中央、岡谷市・諏訪郡下諏訪町・諏訪市にまたがる諏訪湖は、13.3 平方キロメートルの面積を持つ長野県最大の湖です。周囲を山に囲まれた諏訪盆地に位置しており、冬の晴れた日には諏訪湖越しに美しい富士山を眺められるなど、神秘的な魅力を醸し出しています。

諏訪盆地は、関東から九州に伸びる「中央構造線」と新潟県糸魚川市から南に伸びる「糸魚川・静岡構造線」の2つの断層が交差する地域にあります。その成り立ちはおおよそ1,500 万年前と言われています。

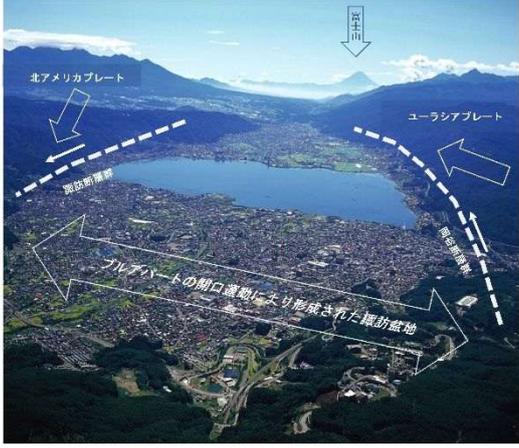
諏訪盆地は120～80 万年前、地球のプレート運動によって地面が移動したことによって断層が崩れ窪んだところに、八ヶ岳や蓼科山などの火山から噴き出した溶岩や灰、川から流れてきた土や砂が積もっていき、長い年月をかけて諏訪盆地ができあがりました。そこに水が溜まり、湖となったのが諏訪湖のはじまりです。

諏訪湖の誕生は約 20 万年前頃

共に左横づれの諏訪断層群・岡谷断層群の活動によってずれた両断層群の間の大地が、引き裂かれ・東西に離れて開き・その開口部が落ち込むという「プルアパートベイズン」の地溝状地形が生まれた。そこに周囲の河川からの土砂の流入により、諏訪盆地が形成されたという考えが一般的です。

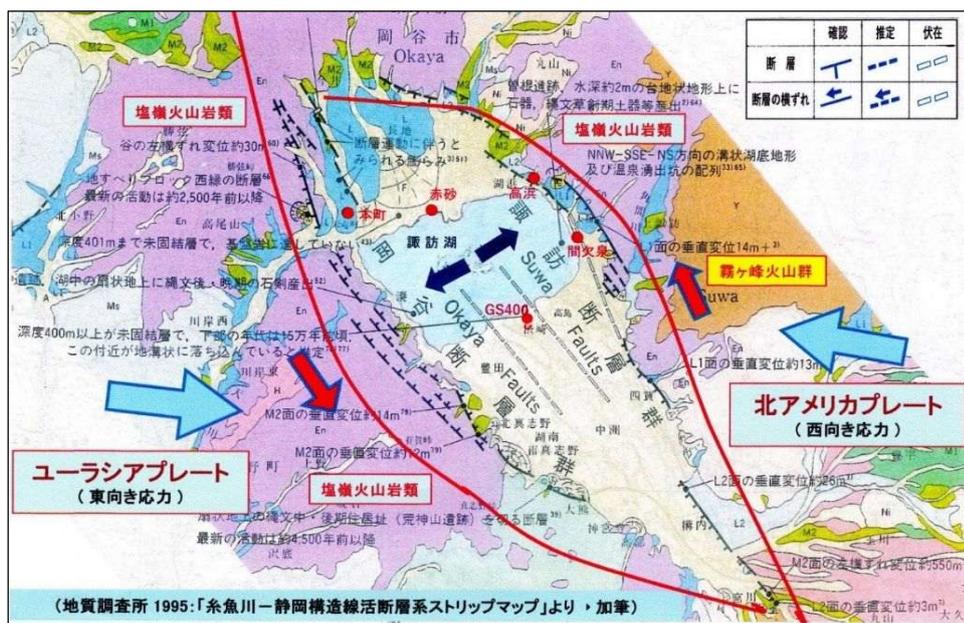
・諏訪のことをもっと知ろう

諏訪の大地誕生

令和7年1月
諏訪湖クラブ
長野県/地域発 元気づくり支援金事業

冊子の表紙
諏訪断層群は北アメリカプレートが西向きに、岡谷断層群はユーラシアプレートが東側に押されて形成されました。



プル=引っ張られる
アパート=離れる
ベイズン=沈下する
左づれ断層により
引っ張られて離れて
いき沈下する地形

印刷
A4 サイズ・カラー
24 ページ
3,500 冊

「プルアパートベイズン」の地溝状地形が生まれた

現在、信州大学理学部諏訪臨湖実験所には、教員3名、職員1名、学生20名（学部3年生含む）が所属しており、諏訪湖をはじめ水域を対象とした様々な研究が行われています。そのうち、私の研究室に所属し、今年度修了・卒業を予定している学生の研究を紹介します。現在、論文執筆の最中で、彼らが考察を進めているところですので、ここでは成果ではなく、何に興味を持って研究を進めてきたのかそれぞれ紹介します。

1. 諏訪湖水中でのリンの動態

諏訪湖では下水道の普及などによって湖水中の全リン濃度が減少しています。それにともなって植物プランクトンの量も減少しています。一方、近年の気候変動（温暖化）により湖水の鉛直混合が抑制され底層の溶存酸素濃度が低下しやすくなっています。本来、底層の溶存酸素濃度が低下すると底泥からリンが放出され水中のリン濃度が上昇するのですが、諏訪湖ではそれが見られません。そこで、「なぜ貧酸素になってもリン濃度が増えないのか」を調査しました。また、諏訪湖では植物プランクトンが利用しやすい無機態のリン濃度が低く、植物プランクトンは常にリン制限にあるので、植物プランクトンがどのように湖水中からリンを獲得しているのかも調査しました。

2. 諏訪湖水中のマイクロプラスチック

近年、マイクロプラスチックによる環境汚染や生物影響が懸念されています。諏訪湖水中からもマイクロプラスチックが検出されています。多くの調査・研究では目視可能なサイズのマイクロプラスチックを対象としています。しかし、「より小さなサイズのものの方が生物への影響が大きい」と考え、諏訪湖やその流入河川で40マイクロメートル（0.04mm）以上のマイクロプラスチックの定量を試みました。また、これらがどのような製品に由来するのか推定するために、プラスチックの素材（例えばポリエチレン、ポリプロピレンなど）の同定を行いました。

3. 諏訪湖の水草の分布

諏訪湖ではヒシだけでなく、クロモやマツモも多く見られるようになりました。その他にも様々な水草が諏訪湖に分布していることが確認されています。「水草がどのように諏訪湖のなかを住み分けているのか」を知るために、水草の種類や量と様々な環境要因（光、粒度など）との関係を調べました。

4. プラスチックによる有害化学物質の吸着

マイクロプラスチック汚染の問題として、マイクロプラスチックが有害な化学物質を吸着することで化学物質の環境中での移動を促すことや生物に取り込まれやすくなる事が挙げられます。プラスチックといっても様々な素材があることから、化学物質を吸着しやすいものとそうでないものがあるかを検索し、その理由を考察しました。

5. 千曲川中流域の生物生産

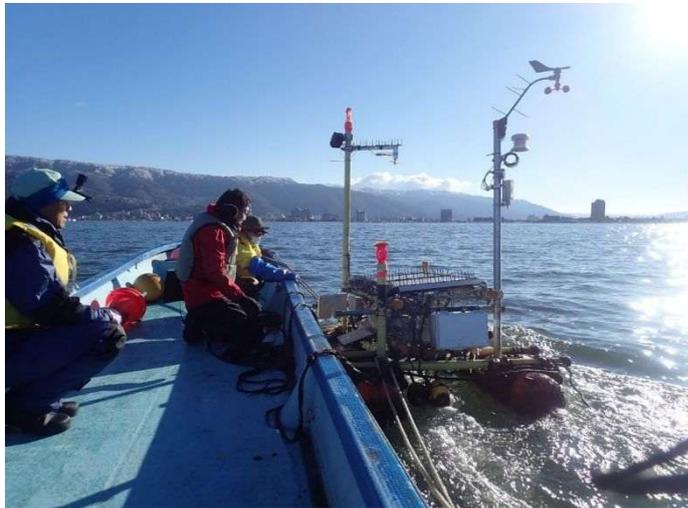
千曲川中流域は河床の付着藻類による生物生産が盛んなことが知られています。日々の生物生産量は、水中の溶存酸素濃度の時間変化から知ることができます。千曲川古舟橋の下流に設置した溶存酸素計のデータから2024年の生物生産量の変化を推定しました。これらと環境要因（水位、水温など）との関係を見ることで、何によって生物生産が制御されているのか解析を進めました。

6. 諏訪湖沿岸の漂着物

諏訪湖沿岸には様々な漂着物が打ち上げられています。そのうち人間活動によって出されたものに着目し、その削減や対策を考えるため、沿岸にあるプラスチック製品等の解析を行いました。製品の原形をとどめているものを回収し、食品包装袋、ペットボトル、食品用プラスチック容器、食品以外のプラスチック、缶に分類し、その起源を推定しました。

7. 諏訪湖底質中のマイクロプラスチック

諏訪湖水中からマイクロプラスチックが検出されていますが、今まで、底質（底泥）中のマイクロプラスチックの定量は行われていませんでした。そこで、「諏訪湖のどのような場所にマイクロプラスチックが溜まりやすいのか、どのような素材のマイクロプラスチックが底泥にあるのか」を調査しました。最終的には、湖の中でどのようにプラスチックが動いているのかを明らかにすることを目指しています。



水質自動観測装置「すわこウォッチ」の引き上げ

諏訪湖水質観測プロジェクトとして2024年3月14日に設置した水質自動観測装置を、冬季の結氷に備え12月19日に関係者とともに諏訪市のヨットハーバーへ引き上げました。今年で7期目になりますが、1年間、途切れることなく観測データ（水温、溶存酸素、濁度、風量）を発信することができました。詳しいデータ解析はこれからです。

諏訪湖水質観測プロジェクトとは

諏訪湖は、長野県中央に位置し、産業、観光、農業等にも利用される諏訪圏を象徴する湖です。また、環境省の水質保全を検討するモデル湖沼への選定が検討されており、水環境への注目度が高い水域です。本プロジェクトは、Suwa Smart Society 5.0の一環として、IoTを利用した諏訪湖水質のリアルタイムな見える化を行い、人手によるデータ収集の手間を削減し、中長期的にデータ収集、解析を行うことで将来の環境予測にもつなげて行きたいと考えています。



観測機器設置位置 2か所

■ 姉妹都市 アメリカ セントルイス市を訪ねて

理事 高木 保夫

先秋セントルイスへ行ってきました。諏訪市と姉妹提携 50 周年の節目を迎え、金子ゆかり団長以下 18 名で 5 泊 7 日の旅でした。羽田から日本航空のシカゴ直行便で 11 時間、オヘア空港から国内便に乗り換え 2 時間でセントルイスに到着いたしました。横断幕で歓迎いただきました。

ちょうど大統領選挙、赤(共和党)と青(民主党)のしのぎあいが真っ最中でした。セントルイスは、ミズーリ州にありミシシッピ川とミズーリ川の合流点に位置します。西部開発への拠点・出発点(ゲートウェイ)となりました。交易の町であるとともに、ボーイング社を筆頭に航空産業や自動車工業が盛んであり、寒暑の差が大きい土地柄です。諏訪市とのご縁も、先にミズーリ州と姉妹県であった長野県の西沢権一郎知事の仲介でした。全米で一番の日本庭園「清和園」には、1974 年に諏訪市から寄贈された雪見灯籠と茶室長野庵が健在です。



セントルイスゲートウェイアーチ

セントルイス御諏訪和太鼓も活発に活動しており、一時間の熱演を披露いただきました。世界は、ウクライナ、中東、韓国と激動しております。だからこそ市民同士のつながり、国際交流を大事にしたいものです。本年は、長野県とミズーリ州が姉妹県 60 周年を迎えます。



ズーリボタニカルガーデン内茶室前にて



在シカゴ日本国領事館にて

○諏訪国際交流協会の現在の会長は高木保夫理事

○姉妹都市セントルイス市

セントルイス市は、アメリカ合衆国中西部、長野県と姉妹県であるミズーリ州にあり、同州の東境を流れるミシシッピ河と中央部を西から東へ横断して流れるミズーリ河の合流点に発達し、商工業、輸送の中心地です。フランス、ルイ 9 世にちなみセントルイスと名付けられました。高さ 192 メートルのゲートウェイアーチに象徴される西部開拓の前進基地でもありました。古くは毛皮の取引地でしたが、現在は、穀物、肉、農産物の集散地となっており、航空機、自動車などをはじめとした工業、商業、金融業など多くの産業が集中し、経済的発展を続けています。また、大学などが多く教育機関もあります。市内には、アーチ、公園、博物館など文化施設もたくさんあり、多くの来訪者を迎えています。



セントルイス市の位置

「湖沼水環境保全に関する自治体連携」をサポートする全方位活動報告

諏訪湖クラブ監事 井上祥一郎

新年明けましておめでとうございます。「湖沼水環境保全に関する自治体連携（以下 自治体連携）」と、「下水道の市民科学」担当の井上です。今回は前者の秋季活動報告です。

自治体連携は2018（平成30）年、茨城県霞ヶ浦で開催された「第17回 世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）」を機に、茨城、長野、滋賀、鳥取及び島根の5つの県が、湖沼の水質や生態系を含む水環境保全に向けた自治体連携宣言をして設立されました。当時の新聞記事で長野県の窓口は環境部水環境課水質保全係。ただし、設立宣言の「持続可能な人と湖沼の共生を目指し、湖沼生態系から得られる恵みを回復し維持する」ためには、程度の差こそあれ全県組織の連携は不可欠です。私たちは幸い、「諏訪湖創生ビジョン（以下創生ビジョン）」で、民・官協力による諏訪湖を核とするまちづくり活動を行っています。ここには多様な主体の方々がありますので、報告内容は「全方位」で行います。

今回は茨城県の霞ヶ浦関連団体さんと交流が生まれた報告他です。

(1) 11月21日、茨城県土浦市で行われた、「ワカサギに学ぶ会」に参加。創生ビジョンの漁業振興分科会で同会の開催を知り、主催の茨城県水産試験場に問い合わせた上、長野県水産試験場にお願いしオブザーバー参加しました。話題提供者と名刺交換したところ、信州大学臨湖研究所の研究経験者というご縁も分かりました。

(2) 茨城県の民間団体「一般社団法人 霞ヶ浦市民協会」から「令和6年度 生態系サービス業務委託推進委員会 先進地視察 諏訪湖ー」の方々（2グループで総勢13名）が来訪されヒヤリングに参加。12月5日（木）13:30～2時間、諏訪合同庁舎で諏訪地域振興局企画振興課との同席で対応。12月8日（日）10:00～1時間諏訪湖漁業協同組合の会議室でのヒヤリングに対応。4日と8日の夕刻には、食事会で交流を深めました。先進地視察は、霞ヶ浦の流域住民、農林漁業者、事業者等の連携目的の県からの受託事業で、今回の受託金額は1,024,100円とのこと。過去には、R3琵琶湖、R4霞ヶ浦、R5宍道湖・中海で実施され、R6年の諏訪湖で全ての自治体連携湖が含まれました。頂いた機関紙「霞ヶ浦 NEWS No.227『宍道湖・中海流域を訪ねる～視察を終えて』」の新入会員さん欄に、旧知の技術士の名前を発見し電話連絡。同技術士は土壤肥料学会誌「湖底のヘドロを湖面で曝気した後、湖底に戻す湖底浄化法」論文の共著者で、井上が拡大理事会で説明した底泥中の鉄に酸素をつける底質改善法「小山・岸法」と同一の生態系サービス利用技術でした。茨城県技術士会に所属されており、井上所属の島根県技術士会、田代さん所属の長野県技術士会との技術士連携に繋がるように進めたいと思います。

以上



霞ヶ浦市民協会(平日班)と意見交換会
12月5日 合庁会議室



霞ヶ浦市民協会(休日班)と意見交換会
12月8日 諏訪湖漁業協同組合会議室

シンポジウム 諏訪湖と市民活動 開催

いばらぎ湖沼市民会議

日時 令和7年2月2日(日) 午後1時から4時30分

場所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール

内容 第1部 午後1時～

基調講演 湖沼の環境保全における住民活動の役割 ～諏訪湖を事例として」

講師；信州大学名誉教授 沖野外輝夫

第2部 午後3時～ 終了4時30分

なお当日の参加者を募集します。参加希望の方は高木保夫理事（090-4152-1871）か八幡義雄理事（090-1867-3249）まで連絡ください

シンポジウム いばらぎ湖沼市民会議

諏訪湖と市民活動

～環境保全とゆるやかな連携を考える

2025年 2月2日(日)

13:00～16:30

会場 茨城県霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール

ワカサギの水上釣りて知られる諏訪湖は、その流域とともに長い歴史と文化を育み、人々の生活を支えてきた信州最大の湖である。

近年はヒシ対策に悩まされつつも、環境保全とまちづくりを兼ねた取り組みにより、観光地としての人気度も高い。

「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を長期ビジョンに掲げた諸活動を視察し、湖沼の恩恵と利活用、湖沼と共存する市民生活の現状、流域市民のゆるやかな連携について考える。

第1部 (13:00～)

- 挨拶：(一社)霞ヶ浦市民協合理事長 市村和男
- 基調講演
沖野外輝夫氏(信州大学名誉教授、諏訪湖創生ビジョン推進会議会長)
「湖沼の環境保全における住民活動の役割 ～諏訪湖を事例として」
- 活動事例発表(リモート参加)
 - 長野県諏訪湖創生ビジョン推進会議
 - 諏訪湖クラブ

休憩

第2部 (15:00～)

- 意見交換会
コーディネーター・講評：黒田久雄氏(茨城大学農学部教授)
パネリスト(以下敬称略・順不同)
 - 認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会理事長 森本信生
 - 土浦の自然を守る会代表 萩原富司
 - ほこたグローバルブランディングプロジェクト代表 大曾根政幸
 - 水戸環境保全会議会長 高橋正道
 - (一社)霞ヶ浦市民協合理事長 市村和男

参加費無料。氏名・年齢・連絡先(住所・電話等)を明記の上、当協会までお申込みください

会場参加者募集は約70名とさせていただきます(多数の場合は先着順)

動画配信を希望される方は、連絡用メールアドレスを明記の上、お申込みください(裏面参照)

内容の一部変更、または、事情により開催が中止になる場合があります

主催 茨城県県民生活環境部 環境対策課
受託団体 一般社団法人霞ヶ浦市民協会

問合先 一般社団法人 霞ヶ浦市民協会
〒300-0043 茨城県土浦市中央2-2-16
E-mail: kcajimukyoku@dream.com
TEL: 029-821-0552・FAX: 029-821-6209
業務時間: 月・水・金曜日 10:00～15:00

2024年度 茨城県 生態系サービス の享受・継承推進事業実施業務受託事業

令和6年(2024)10月4日(金)諏訪合庁

フジクリーン工業㈱広報誌「水の話」諏訪湖特集に関する取材

取材内容；広報誌「水に話」に諏訪湖の取り組みを掲載

参加(沖野、井上、高木、八幡)

紙面の内容

特集；水と生き物がにぎわう湖の未来 …表紙

地域一体で取り組む「諏訪湖創生ビジョン」…p 2

・130万年の時を経て作られた諏訪盆地 …p 4

・水を集める31の河川とたった一つの流出口

・氾濫被害から人々を守る治水対策 …p 5

・釜口水門が諏訪湖の流量を調整

・汚れてしまった諏訪湖の水 …p 6

・地域が一つとなって”誰でも訪れたいくなる

諏訪湖」の実現 …p 7

・20年後の将来像を描く「諏訪湖創生ビジョン」

・理解を深めるための多様な学びを提供 …p8

・愛着を育てる「諏訪湖の日」

・気候変動の視点から世界が注目 …p 9

神秘的な諏訪湖の風物詩「御渡り」



砥川の河口には渡り鳥がやってくる

中央構造線と糸魚川・静岡構造線と諏訪湖のでき方



昔の諏訪湖の大きさ



昔の諏訪湖大きさ



2018年(平成30年)に観測された御渡り

フジクリーン工業㈱のご紹介

日本国内で業界トップクラスのシェアを誇る浄化槽メーカーのパイオニア

主力商品は生活排水を処理する「浄化槽」や工場や事業場からの排水を処理する「産業廃水処理ユニット」など。

その研究・開発から製造・設計・販売・施工・メンテナンスまでを一貫して行っています。

第10回 日本水大賞 経済産業大臣賞を受賞しました

【表彰機関・団体】 日本水大賞委員会

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水のあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水環境の健全化に寄与することを目的としています。

フジクリーンは、「美しい水を守る」ことを目標に富栄養化対策など、水環境の改善を目指した意識啓発活動などの取り組みが評価されました。

■ 諏訪湖の詩から一滴の ^{うた} 吟 ^{つぶやき} & スケッチ、思い～ 藤田ます(本名 池田 昌子)

諏訪市の藤田ますさん(79) =ペンネーム=が、岡谷市出身の小口太郎(1897～1924年)が作詞した「琵琶湖周航の歌」のメロディーに自作の歌詞を付けた「諏訪湖の詩～滴の吟&スケッチ、思い～」を、同市の諏訪湖畔にある小口の銅像の前で披露した。約40分かけて、諏訪湖や諏訪地域にまつわる情景が盛り込まれた60番全てを歌い切った。

歌の披露には、諏訪地域などから10人ほどが集まった。まず全員で小口の像に献杯し「琵琶湖周航の歌」を斉唱。藤田さんは「諏訪盆地を多くの人に訪れていただく材料になれば」と歌への思いを語った。像に向かい、「良い歌を残して下さってありがとうございます」と語りかけた後、諏訪湖の氷が割れてせり上がる「御神渡(おみわたり)」や温泉、中山道、製糸業など自然や歴史の他、4月に全線開通した諏訪湖サイクリングロードなども盛り込んだ歌を、よどみなく歌い切った。



諏訪湖クラブ忘年会で歌の披露する池田昌子さん(右)

歌い終えた藤田さんは「(小口太郎に)今の諏訪の状況を聴いていただけたと思う。今後も、歌うことで健康づくりにつながるような場に生かしたい」と話した。

参加した「小口太郎顕彰碑等保存会」の小口久一会長(77) =岡谷市湊=は「諏訪地域の名所などがよく盛り込まれており感心した」と話した。藤田さんは他界した夫と10年間、琵琶湖周航の歌を口ずさみながら一緒に歩いたことなどから、諏訪湖に関する歌を作りたいと2年がかりで作詞した。

信濃毎日新聞掲載記事より

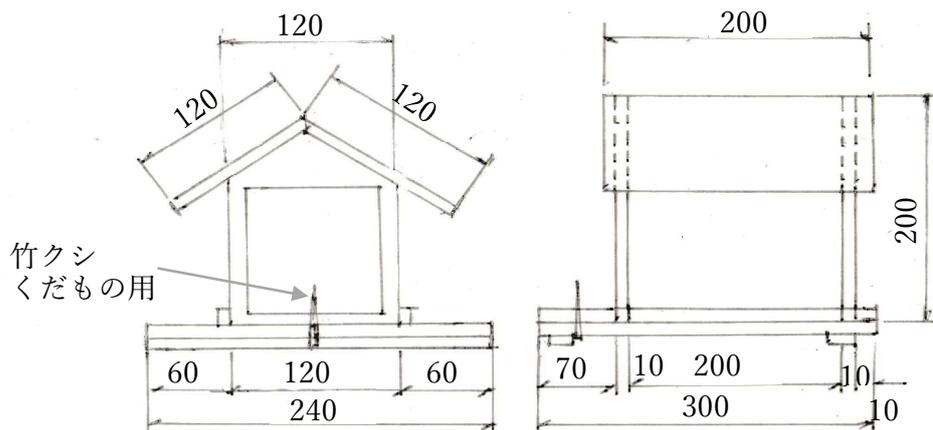
藤田さんが造られた歌は60編ですがその一部を紹介します 諏訪湖釜口水門から時計逆回り

- (1) 我は湖の子、流離の、旅にしあれば、仄々と、棚引く雲と、山波の 諏訪の都を、いざ巡れ
- (2) 釜口水門、水の響き 小口太郎の銅像、歌も奏で湖畔を漫ろ、二人連れ 今日の一日の、思い出に。
- (3) 諏訪湖を救ったクリーンレイク諏訪 東洋のスイスと呼ばれてた 守る自然は皆のもの 輝く未来に届けたい
- (4) 野外の音楽堂 諏訪湖を背にして 歌声湖畔に響きあい 心の詩は、皆で合唱 明日を託す未来に一時を
- (5) 片倉館の、千人風呂 玉砂利の踏み、立泳ぎ テラスに移り、諏訪盆地を 遥御岳アルプス、望まれむ
- (6) 八重垣姫の浄瑠璃は 兜にうつる、洲羽の明神 神の使いか、狐火の 湖渡る姿に、拍手わく
- (7) 高島浮き城、古地図見れば 並木の大手門、偲ばれる 三の丸温泉 常 盈倉と 二の丸の騒動で、長善館が
- (8) 湖水の水源 八ヶ岳 富士見や守屋の 分水嶺 ひずみに出来た 湖 と 湖尻は天竜 舟下り
- (9) 甲州街道、あと少し 諏訪湖を眺おろす、石投場 今日への路は、中山道 旅を癒すお宿は、下の諏訪
- (10) 向こうに見ゆるは、大見山 展望の台が、目に入る 半周回り 頂目指し 眺む諏訪湖来し方 富士山も
- (11) 和田の峰は中山道 歴史の路、時代を支えた、人々の思いを秘めた、峠路 砥川の流れは、諏訪の湖へ
- (12) 白鳥の飛来、待ちわびて 諏訪湖を目指して、舞い降りる 優雅な姿態 横河川河口 北帰行までの楽しみ、又来てね

野鳥のためのエサ台を作って野鳥を呼ぼう

理事 八幡 義雄

野鳥はとても警戒心けいかいしんが強いので配慮が必要です。特に小鳥は外敵が多いので、警戒心は非常に強い傾向にあります。野鳥をはじめ、ほとんどの野生動物は、食事をするときに一番無防備になり、外敵に襲われやすいです。そのため、野生の小鳥は、安心して食事ができる場所えさでしか餌を食べません。置くタイプは猫などが潜む場所ひそのない、見通しの良い高所に設置しましょう。野鳥は、周囲の安全確認ができるような場所を好むので、地面から1メートルくらいの高さがあればまず安心です。



エサ台の寸法図



庭に設置しました



スズメがたくさんやって着ました

○置くエサは何が喜ばれる？

パンくずやお米、アワ、ヒエなどが代表的です。それ以外にも、カボチャの種やヒマワリの種、ナッツ類なども鳥は大好きです。ナッツ類はそのままだと食べられないので、小さめに砕いてあげましょう。

果実はメジロやヒヨドリ、ムクドリなどが好きな食べ物です。秋ならカキやリンゴ、冬ならミカンが良いエサになります。少し小さめに切って、エサ台においてやりましょう。果実ジュースも人気で、小さな浅い皿に入っていると、喜んでやって来ます。

■ 湖南小学校から見た朝日の昇る位置と時間

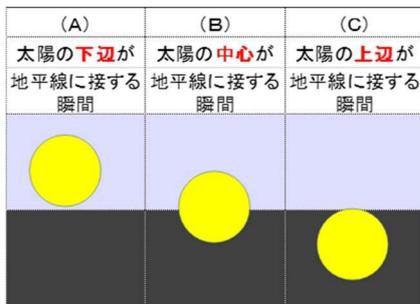
理事 八幡 義雄

湖南小学校は諏訪市の西方に位置し、標高 779m ですので諏訪地方では比較的に日の出が早く見れる位置にあります。南八ヶ岳の全体が遠望でき北八ヶ岳の北端蓼科山が手前の山並みから顔を出しています。夏至の頃は蓼科山の右側に、秋分の日や春分の日には硫黄岳から、冬至の日には八ヶ岳の裾野から朝日が昇ります。



諏訪市湖南小学校校舎から見た日の出の位置と時間

日の出日の入りはどれ？



日の出日の入りとも C が正解です

位置	日の出	日没	日照時間
湖南小学校	6:36	14:42	8:06
中洲小学校	6:50	15:33	8:43
四賀小学校	9:19	16:12	6:53
12月1日調べ			

学校の位置によって日の出、日の入りの時間が大きく異なることがわかります。

四賀小学校の日の出は9時過ぎに、湖南小学校の日の入りは2時42分と早く半日村と言われます。



令和3年6月22日(夏至)の日の出 4時55分

春分の日(3月20日)と秋分の日(9月22日)の日の出は6時頃に、硫黄岳付近から昇ります。夏至の日の出は4時55分で蓼科山(2350m)の左から、冬至の日(12月21日)日の出は7時5分と遅く、八ヶ岳のすそ野が入笠山にかかるあたりから昇りました。

理事会報告

第166回 令和6年10月20日(日) 午前10時00分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野 金子 井上 田代 山村 市川 鴨志田 池田
高木 10人

1. 冊子「世紀を越えた鳥類標本」
A4 カラー20 ページ、印刷部数 1,500 冊 費用 56,310 円
配布；諏訪郡市小学校各校 5 冊、中学校クラス数+3
高校・大学各校 3 冊、八ヶ岳美術館 100 冊他
10月25日原村牛山 貴広村長に贈呈式
2. 諏訪湖クラブニュース 41 号配布
A4 カラー8 ページ、印刷部数 150 冊 費用 5,940 円
配布；諏訪湖クラブ会員
3. 元気づくり支援金事業/諏訪の大地誕生/カイクについて学ぼう/は1月理事会にて配布予定。
諏訪湖の野鳥/諏訪湖の魚介類/は2月理事会配布

第167回 令和6年11月17日(日) 午前10時00分～

場所：スマートレイク事務所

出席者：沖野、井上、八幡、田代、金子、市川、金子、
鴨志田、長崎政、池田、高木

1. まるまるゴミ調査 11月9日土曜日
5ミリ以下がマイクロプラスチック
高原野菜の側条施肥との関連は？
魚の胃袋で消化できない 餓死の原因となる
中学生の参加が多かった
2. 霞ヶ浦からの視察団
12月7日土曜日 6時から懇親会 いずみ屋
12月8日日曜日 10時から会議 漁協
3. 冊子の作成
 - ・世紀を越えた鳥類の標本 林正敏さん
 - ・水の学習 現行のまま諏訪市内の6小学校で使用する
教育委員会と打ち合わせをする

令和6年12月15日(日) 忘年会(理事会を兼ねる)は
5時より「ごんべえ」で行われました

参加15名

報告；令和6年12月7,8日霞ヶ浦市民協会との意見交換
会について

令和7年2月2日「諏訪湖と市民運動」沖野会長講演
→リーフレット配布

池田昌子さん作詞の歌を皆で歌いました

諏訪湖クラブニュース No.42号 令和7年1月号

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

発行人；沖野 外輝夫 TEL/FAX 0266-58-0490

E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

編集人；八幡 義雄

次号は令和7年4月理事会発行予定です

事務局日誌 10月1日～

- 10/4 フジクリーン工業取材
- 10/20 諏訪湖クラブ理事会
- 10/25 冊子鳥類の標本贈呈式
- 11/9 まるまるゴミ拾い
- 11/17 諏訪湖クラブ理事会
- 11/21,22 ワカサギに学ぶ/土浦市
- 11/27-29 科博、林正敏氏所蔵の鳥類標本搬出
- 12/4,5 霞ヶ浦市民協会A班7名来諏
- 12/7,8 霞ヶ浦市民協会B班7名来諏
- 12/15 諏訪湖クラブ忘年会5時～
ごんべえ

新入会員さん(敬称略)

- よろしくお願ひします
池田 昌子
ペンネーム 藤田 ます
諏訪市上諏訪 9035-3

退会された会員(敬称略)

- お世話になりました
小口 さえ子 (諏訪市)
諏訪湖クラブの事務局として諏訪湖クラブニュースの発行など
にご尽力頂いた
平澤 幸雄 (長野市)
元諏訪建設事務所長
諏訪湖の水辺整備他諏訪地域の
インフラ整備にご尽力頂いた

編集後記

○元気づくり支援金を頂き、冊子「諏訪湖の野鳥を観察しよう」を作成中ですが、冊子の中で実際に巣箱と餌台を作成しようと言った責任もあり、巣箱と餌台を作成し、下諏訪町2か所、諏訪市3か所、原村1か所と我が家1か所に設置しました。

野鳥は結構用心深く、すぐやってきてくれませんが、林正敏さんの指導もあり、餌台の側面を壁ではなく支柱方式に改良しました。設置した方から「野鳥が来てくれた」との情報もぼちぼち入ってきました。我が家の餌台も雪の時期を迎え増えてきました。